

みらいをつくる

発行: 泉佐野市教育委員会
教育部【2025年7月14日】

元気はつらつ! 佐野台小学校運動会開催!

6月7日(土)、佐野台小学校の運動会が開催されました。

「児童代表のこたば」では、「勝ち負けなんてどうでもいい 限界まで!」というスローガンとともに元気いっぱいに宣誓し、運動会がスタートしました。

気合の入った応援合戦や白熱したリレー、団体競技等、熱戦が繰り広げられました。

1・2年生の団体演技「RUN~かわいいだけじゃありません~」では、音楽に合わせて元気いっぱいにダンスをしていました。特に、入学してまだ2か月ほどの1年生にとっては初めての運動会。緊張しながらも一生懸命にがんばり、終盤のポーズの場面では、すてきな笑顔を見せてくれました。



3・4年生の団体演技「有限だから最高だ!」では、音楽に合わせて、さまざまな隊形でダンスをしていました。「オー!」「最高だ!」とかけ声が力強く、息がぴったりと合っていました。子どもそれぞれに一生懸命さが伝わってくる素晴らしい演技でした。



5・6年生の団体演技「輝け~みんなを信じ全力で~」では、まずはリズムカルにダンスをして会場を盛り上げました。次に衣装チェンジをし、低い姿勢からソーラン節が始まりました。先程とうってかわり真剣な表情で力強いかけ声とともに全員の息が合っていました。最後は組体操です。服は土と白線の粉で汚れていても一切気にせず、仲間とともにさまざまな技を披露していました。特に、今年で最後の運動会になる6年生は感謝の言葉を伝え、会場は大きな拍手に包まれていました。



笑顔いっぱい! 末広小学校運動会!

6月7日(土)、末広小学校にて春の運動会が開催されました。

当日は雨の心配もありましたが、暑すぎず、身体を動かすのに適した気温で実施することができました。多くの来賓や保護者の前で、子どもたちは笑顔いっぱいで自分の力を発揮していました。

開会式では、子どもたちの大きな声で歌った校歌が運動場に広がりました。選手宣誓では、堂々とした姿で運動会にかける思いをしっかりと伝え、その姿に会場からは大きな拍手が送られました。

1・2年生の大玉ころがしでは、仲間と力を合わせて、自分よりも大きな大玉をころがす姿がとても微笑ましかったです。思うようにころがすことが難しく、苦戦しながらも仲間と声をかけ合う様子がとても印象的でした。

3・4年生の綱引きでは、両チームともに大きなかけ声に合わせて、ものすごい力で綱を引き合っていました。真ん中の旗が左右に揺れて、どちらが勝つかわからないほどハラハラした展開でした。決着後、肩が上下するほど全力で取り組んだ子どもたちの表情は、とても清々しく、両チームの子どもたちが健闘を称える拍手を送り合う姿もとても気持ちがよかったです。

クライマックスは5年生のソーラン節と6年生のフラッグ&組体操です。

5年生は、荒波にも負けない漁師の姿を見事に再現し、迫力ある演技で会場を魅了していました。大きな「ソーラン」の声を響かせながら、かっこよく踊りきっていました。

6年生は小学校生活最後の運動会ということもあり、この演技にける思いもひとしおです。静と動を学年全員でそろえる美しさに、見ている他学年の子どもたちは憧れの眼差しをむけていました。最後の子どもたちからの「ありがとうございました」という感謝の言葉に、感動の涙を流す保護者も見られ、子どもたちは「やりきったぞ」という満足げな表情でいっぱいでした。

子どもたちにとっても、見ている人たちにとっても、心に残る運動会となりました。

